

今後の進め方（県としての考え）について

今後の進め方について(案)

パブコメに組み入れ

- ・ 方面選定における第三者委員会からは、需要の呼び起こしや事業スキームの更なる検討が課題として提示されている。
- ・ 今後、T X県内延伸の実現に向けて、①実現可能性の強化、②調整と磨き上げ、③具体的な計画内容の決定の3つのフェーズに分けて進めていく。

フェーズ1 ＜実現可能性の強化＞

採算性確保に向けた 方策の調査・検討

- ・ 採算性確保に向けて、沿線開発等の需要拡大方策とともに費用削減方策等を検討
- ・ 採算性確保が可能な延伸ルートや事業スキーム等を検討

関係機関との調整に向けて
県としての素案を
策定していく

フェーズ2 ＜調整と磨き上げ＞

関係者との調整等を
進めるとともに、
必要となる追加調査等を
実施し、素案の
磨き上げを進めていく

国勢の発展に必要な
鉄道路線として
交通政策審議会答申での
位置付けを目指す

フェーズ3 ＜具体的な計画内容の決定＞

関係機関等と
路線計画や建設計画、
事業スキーム等を
決定していく。

事業主体となる
鉄道事業者等と共同して
延伸事業の
許可取得を目指す

T X県内延伸の実現

国及び関係都県や関係者等との調整

今後の課題への対応(案)

課題

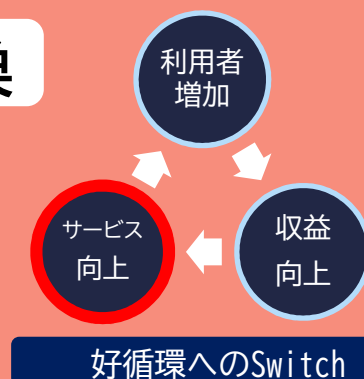
- ・人口減少、人口構造の変化、モータリゼーションの進展、テレワークの普及による利用者減少
- ・利用者減少」→「事業者の収益悪化」→「サービス低下」→「利用者減少」の悪循環
⇒**県内延伸を実現しても、その効果を十分に発揮できない社会的環境**



TX県内延伸を契機とした自動車から公共交通への転換

➤沿線自治体や鉄道事業者等と連携した交通NWのサービス向上

- 取組例
- 幹線NWのピーク時運行本数の確保
 - 定期券の高付加価値化
 - 利用者への満足度調査の実施 等



TX県内延伸の意義の実現

- ①東京圏からの新たな人の流れの創出
- ②つくばと水戸の二大都市圏の交流拡大
- ③自動車からの転換に向けた公共交通のサービスレベルの向上
- ④TX延伸を起爆剤とした本県未来の更なる飛躍

公共交通の多面的効果

- ・CO2削減による環境負荷削減の効果
- ・企業誘致等による地域経済の活性化
- ・地域の移動手段の維持・確保
- ・交通事故防止等の安全面の効果
- ・外出機会の拡大による健康促進効果 等

